

～ “あたがいさん” の心でつくる 温かいまち彦根～

社協ひこね



▲「かまどベンチを使った炊き出し」を体験する参加者。=グリーンハイツ自治会館にて（昨年の様子）=

かまどベンチで防災意識の高揚 “互近助の重要性を実感” ~城北学区~

ひと昔前までは、「災害は忘れたころにやってくる」と言いましたが、近年は、「災害は忘れぬうちにやってくる」と言われるほど頻発しています。

昨年10月、「きらめき城北くらしプラン」（城北学区住民福祉活動計画）と彦根市北老人福祉センター自主事業とのコラボ企画として、「かまどベンチを使った防災講座」を松原町グリーンハイツ自治会館（フォーラムグリーン）において開催しました。

当日は、地元住民のほか学区内外から35人の参加があり、災害時を想定した「炊き出し訓練」を体験されました。

また、同自治会の自主防災会の方々には炊き出しの合間を活用して「簡易トイレ」や「給水袋」の説明などもしていただきました。

この取組を通して、地域での防災意識がさらに高まり、互近助（ごきんじょ）の重要性を実感することができました。

8月
2019
第209号

彦根市社協では、「見守り合い活動」および「見守り会議」に取り組まれる自治会様向けの助成制度をご用意しています。詳しくは社協ホームページをご覧ください。